

## GOD WITH US

Part 11: PASTORAL LETTERS

### Message 2 – Titus

Letter to Pastor Titus in Crete

#### Titus

##### 神はわれらと共に

パート11：牧会書簡

##### 第2メッセージ-テトスへの手紙

クレタ島の牧師、テトスに宛てた手紙

##### テトスへの手紙

### はじめに

パウロが記したテトスへの手紙は、テモテへの手紙第一と類似している点はいくつかあります。パウロが小アジアの教会に秩序をもたらすために、エペソにテモテを残したのと同様に、クレタ島の様々な都市の教会に秩序をもたらすために、テトスを残しました。危険な誤った教えの問題は、冒頭の章（テトス1：10-16）に出てきます。両方の手紙の中で、パウロは、指導者に要求する一連の資格を表記しています。誤りを修正する健全な教義の必要性が、両方の手紙の中で強調されています。

第一テモテと同様に、「救い主」という神の称号がテトスの手紙の中でも頻繁に用いられています（テトス1：3,4; 2：10,13; 3：4,6）。イエス様が私たちの救い主であることが、はっきりと強調されていますが、類似テーマがテトスへの手紙の中で独特

に響く箇所があります。それは、イエス様への真の信仰の適切な証としての善い行いの必要性です。善い行いというこのテーマが繰り返し強調されていることに注意してください（テトス1：8,16; 2：3,7,10,14; 3：1,8,14）。

これは、パウロの救いの神学を理解する上で重要です。ヤコブは、しばしば善い行いを強調する使徒と呼ばれ、一方、パウロは恵みと信仰の使徒として知られていますが、パウロもまた、信仰と善い行いとの関係について、非常に強い見解（ヤコブとまったく同じ見解）を持っていたことは、テトスへの手紙から明らかです。キリストへの信仰は、私たちの救いの根源で、善い行いは、救いの実です。パウロは、テトス第2章10節で「**adorn**」（kosmeo）という言葉を用いています。この言葉は、「作りたてる、飾りたてる、魅力的にする、飾る」等という意味を含みます。この一言は、テトスの独特なテーマを見事に要約しています。善い行いは、信仰による救いの適切な「装飾」です。良い行いは、信仰による救いを魅力的に見せるための外側の表示です。救いの信仰が心の内面の資質であるなら、善い行いは信仰が本物であり美しいことを示す外面的な装飾です。したがって、新約聖書の神学によると、信仰と働きは決して引き離されるべきではありません。プロテスタント宗教改革の偉大な神学者であるジャン・カルヴァンは、次の様に述べています。信仰によってのみ救われます。しかし、信仰による救いは決して単独ではありません。これ

は、救いに関するパウロとヤコブの両方の神学の正確な要約です。

### 冒頭の挨拶：1：1-4

ガラテヤ人への手紙と同様に、テトスへの手紙の導入は長く、パウロは、この手紙の執筆目的を説明しています。クレタ島の新しい信者たちは、偽りを教えられていたので、テトスは長老を任命し、健全な教義を教える必要がありました。冒頭の文で、パウロは「**信心にかなう真理**」を強調していることに注意してください。パウロは、知的または理論的な信仰を促進することには興味がありませんでした。人が神の真理を真に理解し、それに反応するとき、その結果、その人の人生における謙遜さはますます高まります。

**1:1** 神の僕、イエス・キリストの使徒パウロから——わたしが使徒とされたのは、神に選ばれた者たちの信仰を強め、また、信心にかなう真理の知識を彼らに得させるためであり、**1:2** 偽りのない神が永遠の昔に約束された永遠のいのちの望みに基くのである。**1:3** 神は、定められた時に及んで、御言を宣教によって明らかにされたが、わたしは、わたしたちの**救主なる神**の任命によって、この宣教をゆだねられたのである——**1:4** 信仰を同じうするわたしの**真実の子テトス**へ。**父なる神とわたしたちの救主キリスト・イエス**から、恵みと平安とが、あなたにあるように。（テトス1：1-4）

「**神に選ばれた者たち**」とは、キリスト・イエスを救い主として信じた人々を指します。パウロは「**彼らの信仰と真実の知識をさらに深めたい...**」と願っていました。テトスは、モテと共に、パウロの真の霊的息子であり、クレタ島周辺の家庭教会の牧師に選ばれました。パウロが、「**偽わることがない神**」と描写した事実は、まさにクレタ島の問題、嘘つきである偽教師がいたということを示しています（テトス1:12）。ここに、「**救い主である神**」という最初の言い回しがあります。冒頭で述べたように、これは両牧会書簡の中で、パウロが神のために用いたお気に入りの称号です。

「**私たちの救い主である神**」の直後に、キリスト・イエスが「**私たちの救い主**」であるとパウロが断言していることに注意してください。キリストの神性を救い主であり、神であると断言しているので、これは重要なポイントです。再度、第2章13節で、パウロは、「**2:13 祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神、わたしたちの救主キリスト・イエスの栄光の出現を待ち...**」つつ、キリスト・イエスの神性を強調しています。

重要な懸念の一つは、ユダヤ主義者（律法主義者）に関する警告です。（テトス1：10-14）。ユダヤ人は、三位一体、父、御子、聖霊なる神を信じていません。むしろ、ただ唯一の神を信じています。パウロは、この短い手紙の中で三位一体の3つの側面について教えています。聖霊の一つの働きは（テトス3：

5,6) に記述されています。今日も、三位一体の教義とキリストの神性についての教義は、依然として多くの人々から疑問視されています。テトスへの手紙は、この「健全な教義」に焦点を当てています。

### 長老の資格：1：5-9

テモテへの手紙の資格に関するリストは、第一テモテへの手紙第3章1-13節の表記の短いバージョンです。リストの詳細が異なるという事実は、調べる必要があるのは、性格的資質よりも、個人の全体的な生活をより注意して調べ、評価する必要があるということを示しています。指導者は、神の不変の真実をしっかりと把握しているでしょうか？家庭、職場、社会全体、個人の誠実さなど、人生の主要な分野で敬虔さと一貫性を示しているでしょうか？

### 偽教師の特徴：1：10-16

エペソの偽教師の特徴の簡単な説明（テモテへの手紙第一1：6,7）とは対照的に、パウロは、クレタ島の人々の性格と行動について、より詳細に説明しています。「割礼のある者の中」と言及していることから、パウロは、Judaizers（ユダヤ人教師：パウロがガラテヤ人への手紙の中で扱ったのと同じ偽教師が、ここでもパウロの異邦人改宗者に対して、完全に「救われる」ためには完全に「ユダヤ人」になる必要があると説得しようとしていました。）を視野に入れていることを示します。

1:10 実は、法に服さない者、空論に走る者、人の心を惑わす者が多くおり、とくに、割礼のある者の中に多い。1:11 彼らの口を封ずべきである。彼らは恥ずべき利のために、教えるはならないことを教えて、数々の家庭を破壊してしまっている。1:12 クレテ人のうちのある預言者が「クレテ人は、いつもそうつき、たちの悪いけもの、なまけ者の食いしんぼう」と言っているが、1:13 この非難はあたっている。だから、彼らをきびしく責めて、その信仰を健全なものにし、1:14 ユダヤ人の作り話や、真理からそれていった人々の定めなどに、気をとられることがないようにさせなさい。1:15 きよい人には、すべてのものがきよい。しかし、汚れている不信仰な人には、きよいものは一つもなく、その知性も良心も汚れてしまっている。1:16 彼らは神を知っていると、口では言うが、行いではそれを否定している。彼らは忌まわしい者、また不従順な者であって、いっさいの良いわざに関しては、失格者である。（テトス1：10－16）

パウロが未信者の作家や預言者を引用して論点を述べている箇所が新約聖書の中で3回あります（使徒17:28;コリント第一15:33;テトス1:12）。これは、現代の牧師／教師が現代の哲学者などの言葉を引用して主張することに似ています。ここでパウロは、クレタ島の有名な預言者の一人、エピメニデス（紀元前600年）を引用しています。これは一般的にクレタ人への叱責の様に読めますが、パウロがクレタ島のキリスト者を含む全人口

をその様に特徴づけることによって、侮辱するとは考えられません。ここの文脈から、実際パウロは、「不誠実な利益」に傾いた「嘘つき」であった偽教師の特徴について話しています。偽教師に欠けている、真の信仰の外面的な証拠が強調されていることにもう一度注意してください。「**1:16 彼らは神を知っていると、口では言うが、行いではそれを否定している。**」(テトス 1:16)。人の人生(行い)は、信仰の表れを表示するか、信仰の否定を表示するかのいずれかです。

法執行機関が誰かに偽通貨を探し当てる訓練をするとき、真の通貨を何度も触れさせることによってそうします。この様にして、彼らの触覚は「本物」に精通することによって、偽通貨に触れた際に、即、「違和感」を覚えられるようになります。同様に、霊的な欺瞞を識別するための最善の方法は、神のみ言にある様に、霊的な真理に完全に精通することです。クリスチャンが神のみ言にある真理に深く精通していることの必要性は、いくら強調しても足りません。私たちの時代は、誤りや欺瞞で溢れているので、唯一の安全な道は、「教えに従った忠実なみ言をしっかりと保持し、それによって(私たちが)健全な教義を勧め、それと矛盾する人々に反論できるように備えることです。」(テトス 1:9)。

## 教会の様々なグループへの指示：2：1-10

パウロは年配の男性と年配の女性に指示をしています。若い女性と若い男性、使用人(奴隷)のための指示も記していますが、珍しく、主人のための指示はありません。全体的な強調は、影響力のある領域にいる人々に、イエス様を反映する、威厳のある敬虔な行動(テトス 2:1-6)です。

…そうすれば、彼らは万事につけ、わたしたちの救主なる神の教を飾ることになるろう。(テトス 2：10)

パウロはテトスに、すべての人が従うべき模範を示すように指示しています(参照：第一テモテ第4章)。

**2:7 あなた自身を良いわざの模範として示し、人を教える場合には、清廉と謹厳とをもってし、2:8 非難のない健全な言葉を用いなさい。**そうすれば、反対者も、わたしたちについてなんの悪口も言えなくなり、自ら恥じいるであろう。

(テトス 2：7，8)

「誠実」=正直、道徳、名誉、美德、善良(コリント書とシソーラス)。パウロは、「**反対者**」がいることを前提に話しました。しかし、誠実な生活と健全な教えのために、パウロの信用を傷つけようとしている人々を暴露し、最終的に彼らに恥をもたらしました。

あなたの人生は、あなたを見る人々が真理を見ることができ  
る模範でしょうか？神は、ご自身を知らせられるために、  
「靈感を受けた真理」と共に「受肉の真理」を用いられます。  
パウロがコリント教会に教えた通り、私たちのいのちは  
「生きた手紙」になります。3:2 わたしたちの推薦状は、あなた  
がたなのである。それは、わたしたちの心にしるされていて、  
すべての人に知られ、かつ読まれている。3:3 そして、あなた  
がたは自分自身が、わたしたちから送られたキリストの手紙であ  
って、墨によらず生ける神の霊によって書かれ、石の板に  
ではなく人の心の板に書かれたものであることを、はっきりと  
あらわしている。」（コリント人への手紙第二 3:2,3）。  
人々があなたの生き方を見ると、イエス様に似た者として  
見えることによって、生きた「キリストの手紙」があなたの  
生き方に記されているのを見ることができるとは、どう  
でしょうか？

### 神の恵みと善行：2：11-3：8

特徴に関する指示の只中に、パウロはイエス様を私たちの  
救い主とするために送ってくださった、父なる神の究極のお  
目的について最も美しい説明を挿入しています。この部分  
は、次の章にまたがります（後の編集者によって挿入された）。大  
変長い箇所であり、手紙の中心なテーマでもある、恵みによる  
救いと善い行いと、その関係を強調しています。ゆっくりと注  
意深く調べてください。

2:11 すべての人を救う神の恵みが現れた。2:12 そして、わた  
したちを導き、不信心とこの世の情欲とを捨てて、慎み深  
く、正しく、信心深くこの世で生活し、2:13 祝福に満ちた望  
み、すなわち、大いなる神、わたしたちの救主キリスト・イ  
エスの栄光の出現を待ち望むようにと、教えている。2:14 こ  
のキリストが、わたしたちのためにご自身をささげられたの  
は、わたしたちをすべての不法からあがない出して、良いわ  
ざに熱心な選びの民を、ご自身のものとして聖別するために  
ほかならない。（テモテ2：11-14）

救いは、神の恵みによって私たちにもたらされ、この贈り  
物はすべての人に提供されています。しかし、救いの賜物は  
私たちに罪を犯し続けるための無限の「切符」を与えている  
わけではなく、むしろ神の恵みは、正直で敬虔な生活を追求  
し、不敬虔さを拒否することを教えています。私たちが御霊  
の支配に屈し、「御霊によって生きる」（ガラテヤ 5:25）と  
き、御霊は私たちが敬虔な行動をとるのを助けてくださいま  
す。再度、この手紙で、パウロが救いの実を強調しているこ  
とがわかります。救いの実とは、神のみ言によって変えられ  
ることから成長し、振る舞いの変化と神性の成長に繋がる善  
行です。イエス様は、人々を罪から清めてくださり、「良い  
行いをせぬにいられない」者へと変えてくださいます。

パウロは、第3章でも善い行いを追求したいという私たち  
の願望に繋がる神の恵みのテーマを続けます。善行に言及し

ているこの部分の始まりと終わりに注意してください。真ん中の部分では、再び、神の恵みによって私たちにもたらされる救いを美しく要約しています。

**3:1** あなたは彼らに勧めて、支配者、権威ある者に服し、これに従い、いつでも良いわざをする用意があり、**3:2** だれをもそしらず、争わず、寛容であって、すべての人に対してどこまでも柔和な態度を示すべきことを、思い出させなさい。**3:3** わたしたちも以前には、無分別で、不従順な、迷っていた者であって、さまざまの情欲と快樂との奴隷になり、悪意とねたみとで日を過ごし、人に憎まれ、互に憎み合っていた。**3:4** ところが、わたしたちの救主なる神の慈悲と博愛とが現れたとき、**3:5** わたしたちの行った義のわざによってではなく、ただ神のあわれみによって、再生の洗いを受け、聖霊により新たにされて、わたしたちは救われたのである。**3:6** この聖霊は、わたしたちの救主イエス・キリストをとおして、わたしたちの上に豊かに注がれた。**3:7** これは、わたしたちが、キリストの恵みによって義とされ、永遠のいのちを望むことによって、御国をつぐ者となるためである。**3:8** この言葉は確実である。わたしは、あなたがそれらのことを主張するのを願っている。それは、神を信じている者たちが、努めて良いわざを励むことを心がけるようになるためである。これは良いことであって、人々の益となる。(テトス3：1－8)

神は、私たちが行った善行のために救ってくださったのはありませんが、私たちが善行を行う者とするために救ってくださいました。テトスへの手紙に基づくと、パウロとヤコブが救いの意味について対立(パウロは恵みによる救いを教え、ヤコブは働きによる救いを教えた。)していると主張する神学者が存在することは理解し難い事実です。これは、パウロとヤコブの両方のメッセージの複雑さを見逃しています。パウロは、信仰による恵みによる救いを強調する傾向がありましたが、これは彼が行いによる救いの制度から出て来ているためであり、この行い基盤をシステムとする偽教師によって絶えず反対されてきました。同時にパウロは(テトスの様に)、信仰による救いという現実を示すための善い行きの必要性について多くのことを教えました。対照的に、ヤコブ(も同様にユダヤ人ではありますが)は、信仰から生じる善い行いを強調する傾向がありました。しかし、これは一部のクリスチャンの振りをする者たちの間で「恵みの薄っぺらい見方」を採用する傾向が見られたためです。つまり、恵みは無限に罪を犯させる切符であり、生き方を変える必要はないといった誤りの教えでした。ヤコブは、神の恵みの中心性と十字架上のキリストの完了した御業への信仰を確実に理解していました。イエス様は、ヤコブの「異父兄弟」であったことを覚えておく必要があります(参照：マタイ13：55-57 ヤコブは、処女懐胎後に生まれた、ヨセフとマリアの地上の子供たちの一人でした。)。パウロとヤコブを注意深く研究すると、

二人がまったく同じ福音のメッセージを2つの異なる角度から見ていることがわかります。

テトスとヤコブに関するもう一つの備考は、真理を体現する信者の描写の類似性です...「**3:2** だれをもそしらず、争わず、寛容であって、すべての人に対してどこまでも柔和な態度を示すべき… (真の謙遜さを示す)」 (テトス **3:2**)。「**3:17** しかし上からの知恵は、第一に清く、次に平和、寛容、温順であり、あわれみと良い実とに満ち、かたより見ず、偽りが無い。」 (ヤコブ **3:17**)。

#### 偽教師の問題に戻る：3：9-11

パウロは、再び偽教師の問題に戻り、テトスへの指示を締めくくります。これは、クレタ島の大きな問題であったに違いありません。群れを動揺させ、さらには「**数々の家庭を破壊してしまっている**」 (テトス **1:11**) 問題要因であった偽教師たちについての完全な対処に手いっぱいであったことは確かです。彼らは各都市の教会生活から取り除かれる必要がありました。

**3:9** しかし、愚かな議論と、系図と、争いと、律法についての論争とを、避けなさい。それらは無益かつ空虚なことである。**3:10** 異端者は、一、二度、訓戒を加えた上で退けなさい。

い。**3:11** たしかに、こういう人たちは、邪道に陥り、自ら悪と知りつつも、罪を犯しているからである。

#### (テトス **3：9－11**)

分派を起こす者とは、「分裂」して不一致をもたらす人のことです。パウロは、信者のグループや教会において、これらのタイプの人々をどの様に扱うかについて、テトスや他の指導者に指示します。「もし、今後も論争的で好戦的な態度をとり続けることによって分裂することを選択されるなら、これ以上歓迎されません。」この様なことを言うことは難しいですが、破壊的な影響はそれ以上に悪いことです。明確に、直接的に、正直に、敬意を払うためには勇気が要します。私たちは皆、他の人との関わり方に注意を払う必要があります。また、分裂が生じているときに声を上げ、テトスに与えられた手順に従うための知恵と勇気のために祈る必要があります。

#### 最後の指示：3：12-15

パウロが冬をニコポリス (マケドニア西部の都市) で過ごすことに決めたという事実は、彼が最初のローマの投獄から解放されたことを示しています。法学者ゼナスとアポロがどの様な特別な任務を遂行したのかはわかりませんが、パウロは、テトスに彼らの旅のために十分に装備されていることを確認する

ように促しました。最後にもう一度パウロは、クレタ島のキリスト者に善行に従事するようにと指示します。

**3:12** わたしがアルテマスかテキコかをあなたのところに送ったなら、急いでニコポリにいるわたしの所にきなさい。わたしは、そこで冬を過ごすことにした。 **3:13** 法学者ゼナスと、アポロとを、急いで旅につかせ、不自由のないようにしてあげなさい。 **3:14** わたしたちの仲間も、さし迫った必要に備えて、努めて良いわざを励み、実を結ばぬ者とならないように、心がけるべきである。 **3:15** わたしと共にいる一同の者から、あなたによろしく。わたしたちを愛している信徒たちに、よろしく。恵みが、あなたがた一同と共にあるように。  
(テトス 3 : 1 2 - 1 5)

### ディスカッションの質問

1. 善行に関する箇所を復習してください (1 : 8,16; 2 : 3,7,10,14; 3 : 1,8,14)。この手紙は、救いの教義に対するあなたの見方をどのように形作っていますか。「私たちは行いによって救われるわけではありませんが、行いのために救われています。」という声明について話し合ってみましょう。
2. テトス第2章11-第3章8節を確認してください。神の恵みに注意を向けてください。この部分は、神の驚くべき恵みに対するあなたの見方をどのように深めますか？

3. テトスへの手紙とテモテへの手紙 第一の両方で強調されている様に、誤った教えの危険性を考慮してください。この問題が今日の教会にどの様に現れていると思いますか？ 私たちはそれについて何ができますか？

4. パウロは、若い牧師であったテトスに手紙を書きましたが、この手紙から適用することがたくさんあります。あなたにとって最も役立ち、チャレンジであったことは何ですか？

### 終わりに：第一テモテ 2 : 8-15 の解釈的読みもの

\* 第一テモテの最初のメッセージの中で、シャーリーと私が取り組んだ、教会での男性と女性の振舞いを扱った非常に複雑で難しい箇所についての解釈的読みものを提供しました (第一テモテ 2 : 8-15)。繰り返しますが、これはギリシャ語の原文の「翻訳」ではありません。男女の役割に関する聖書の教えの直接の文脈、及び、より広い文脈の両方における複数の要因に基づいた解釈的読みものです。

「アダムの沈黙」という男性の受動的なパターンに陥ることなく、教会生活に従事する男性を見たいと願っています。たとえば、世界中の男性が教会の祈りの生活に参加する必要があります。男性は、互いに好戦的で論争的になるのではなく、神の御前に聖なる心をもって、ひれ伏すべきです。男性の皆さんは、不快になることなく、反対することが可能であ

り、これは効果的な祈りに欠かせません。ですから、祈ってください。女性に祈るのを任せきりにしないでください。

女性の皆さんには、重要な責任があります。謙遜さと自制心は神を喜ばせ、地域社会に利益をもたらします。イエス様を表示するのです。自分自身に注意を向け、外観を強調することによってではなく（これは人々の気を散らすでしょう）、むしろ、敬虔な性格を通して、また、他の人に善を行うことによって、イエス様を表示することができます。

教えの時に関しては、騒がしく混沌とするのではなく、整然とした秩序ある時である必要があります（特に、家庭での集会の場合は。）。女性は（男性も同様に）落ち着いたある受容的な精神をもって耳を傾けて、学ぶべきです。女性が男性を越えて、教会を教え、導く役割を常に担うものであると決め込んでいただきたくありません。（ちなみに、ギリシャ語の時制の使い方から、ここで重要なことを強調していることに気付かれるでしょう。私は、教会で恒久的に教え、指導的な役割を担っている女性について話しているのです。ご存じの通り、私には多くの女性の動労者があり、敬虔な女性が謙遜さをもって指導することに問題はありません。私は、女性の動労者から多くを学びました。ただ、女性が男性を超えて、支配していただきたくないのです。）女性は男性に、教会と家庭で導き、保護し、祈るという、神から与えられた責任の達成を奨励するべきです。これらの分野を指導するのは、女性の自然な傾向であるため、これには女性側の抑制が必要になります。

最後に、教会における、この秩序のすべては、神が天地創造の際に確立された秩序に関連していることを覚えましょう。アダムが先に創造され、その妻を導き、保護する責任が与えられました。しかし、皆さんがご存じの通り、蛇はエバを標的にして、彼女をだましました。この様にエバは誘惑に屈しました。それにもかかわらず、女性の重要な役割は、教会と世において永久保存されました。（男性ではなく）女性が、キリストの誕生を世にもたらし、今日に至るまで、子どもたちの誕生を世にもたらしめます。また女性は、その信仰と敬虔な性格を通して、次世代の心と思いを形成するという独特な責任を負っています。だからこそ、女性の方々は、自分自身の「資質的資格」、つまり信仰、愛、敬虔さ、正しい思考を追求するよう注意しなければなりません。